

蔵地台地

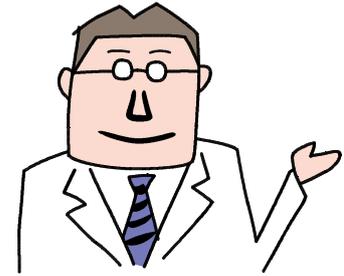
～ 「夢」と「高森の心」を育み、
挑戦し続ける学校 ～

熊本県高森町立高森東学園義務教育学校
【学校便りNo. 23】 H30. 10. 4 文責：塩村

本庶氏のノーベル賞受賞に思う

～ “好奇心” をもち、挑戦し続けることの大切さ ～

先日、本庶^{ほんじよ}佑^{すく}京都大学特別教授（76歳）がノーベル賞を受賞されました。すばらしいニュースで、私たちに元気を与えてくれますね。受賞理由は、「免疫^{めんえきはんのう}反応のブレーキ^{かいいよ}を解除することによるがん治療法の発見」だそうです。このような研究の成果が将来の医療に活かされていくことは大変ありがたいことだと思います。



本庶教授は、今回の受賞について、「好奇心をもつこと」「自分が納得^{なつとく}いくまで、こだわって考え続けること」を大切にしながら、長年、基礎研究^{かき}に関わり続けてきた成果だと話されています。このことは、本校の教育目標（「夢」と「高森の心」を育み、挑戦し続ける学校）とも大きく重^{かさ}なっているのではないのでしょうか。

「自分の夢に向かって、あきらめないで挑戦し続けること」。そうすることで、いつかきっと大輪^{たいりん}の花が咲くと信じています。児童生徒のみなさんはまだ若い！これからの人生、一人一人がすばらしい無限^{むげん}の可能性を秘めています。明日で1学期は終わりますが、気持ちを切り替える絶好^{ぜつこう}のチャンスです。2学期も新たな気持ちで、自分の夢実現に向けて、「更なる挑戦」を続けてほしいと願っています。

受け継ぐ、ふるさとの伝統・文化

～ 尾下の「獅子舞」に参加、育む「高森の心」 ～



【「獅子舞」で踊る子どもたち】

お陰様で、本校は、保護者・地域の皆様方のご協力により、地域での学習の機会がたくさん確保されています。大変ありがたく思っています。

10月3日（水）に、^{おくだりすがわら}尾下菅原神社で行われた秋季例大祭に、ふるさと教育の一環として、3、4年生と尾下地区の児童生徒、合わせて15人が参加させていただきました。

保存会の方々の獅子舞や笛、太鼓^{たいこ}に合わせて、子どもたちが踊る姿は堂々としていて、参加者に大きな感動を与えてくれました。400年もの間、連綿と受け継がれてきたこの獅子舞を、私たちの代で絶やしてはならない、という思いを強くしたところです。参加してくれた児童生徒のみなさん、大変お疲れさまでした。